



## 排水制限ルールの考え方

大地震発生によりマンション建物自体に問題はなくても、配管などに損傷被害を受ける可能性があります。その場合、マンション内で被災生活を行っても、配管の損傷による水漏れ等の被害が発生する可能性があるため、マンション内での排水制限ルールを検討しておきましょう。

## ゴミ出しルールの考え方

大地震発生時には、道路の寸断やごみ処理場の停止などから、ごみの回収が数日間～数週間停止することが想定されます。その場合、日常生活で発生する生活ゴミに加えて、震災ゴミ（粗大ゴミ等）が多く出る可能性があります。しかし、居住者が平等と同様にゴミ出しを行うと、すぐにゴミ置き場がいっぱいになり、衛生状況が悪化します。それらを防ぐために、マンション内でのゴミ出しルールを検討しておきましょう。



## 排水ルールの決め方

排水ルールの制定は、マンションで被災生活を送る中で、漏水等の2次的な被害を避けるために行います。ここでは、2つの排水ルールを案内します。どの時点でマンション内での排水制限を行うかを検討・選択し、排水ルールを決定しましょう。

### 排水ルール 方法 ①

震度6弱以上の地震が発生した時点で、マンション内の排水制限を開始。  
(マンション内の配管を確認することが難しいため、損傷の有無に関わらず、漏水被害発生自体の防止を目的とした排水制限開始となる。)

### 排水ルール 方法 ②

地震発生後に漏水被害を発見した場合や、居住者からの申告によって漏水が判明した場合に排水制限を開始。  
(実際に漏水被害が判明してからの排水制限開始となるため、被害の拡大防止を目的とした排水制限になる。)